

発行日 平成8年7月1日
発行者 江別市生涯学習推進協議会
編集人 広報小委員会(春日基)
連絡先 江別市教育委員会生涯学習担当
(高砂町24・381-1062)

学習の輪 広げよう

8年度 推進協議会の総会終わる

5月11日

去る5月11日(土)、市民会館において、平成8年度江別市生涯学習推進協議会総会が代議員二十七名の出席をもって開催されました。

伊藤会長のあいさつの後、

来賓の小川市長は、「行政のつくった器に、みなさんの手

で魂を入れてください。」と

エールを送ってくださいました。

つづいて、議長に、藤井實氏(江別市シルバー人材センター)が選出され、議事に入りました。

審議は、七年度の事業及び決算、会計監査報告ならびに

八年度の事業及び予算でしたが、いずれも原案どおり承認されました。八年度の主な事業は、第二回生涯学習フェスティバルえべつ、紅ライフトーク'96、生涯学習講座など今年も積極的に市民へ学習の機会を提供していきます。

出席者は、設立二年目の草創期である本会の活動充実と発展のための決意を新たにしました。

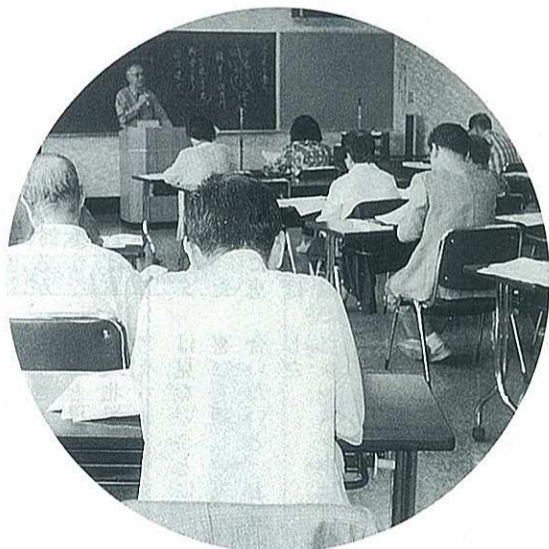
人生を二度生きる

熱気むんむん 自分史入門講座

人生という一つのドラマを形のあるものとして残したいと願う人々は、高齢化社会の伸展とともにますます多くなってきています。

市教委では、女性文芸サークルの白萩会、ふだん記江別グループとの共催で、5月31日から6月28日まで自分史入門講座を開催しました。この講座には四七名の申し込みがあり、自分史の静かなブームを実感することができました。

第一回目は、北海道自分史友の会会長、本間末五郎氏の



背中に刻み込んだ人生の年輪、文字にしませんか。

「自分史のすすめ」、第二回から第五回では、「自分史とは何か」・「自分史を書くために」等、基礎や取り組み、調査方法、資料収集、執筆の心がまえを学びました。

受講者の中には、既に自分史を発刊された人もおりました。また、その準備のため資料を集めている人、何か記録を残しておきたいが自分史となると難しいので...といった人の参加が多かったようです。自分史づくりは他人に自分を知ってもらうことはもとよ

り、自分を見つめる良いチャンスでもあります。自分にとっていつが一番輝いていたか、最大の冒険は何か、悩んだこと、悲しかったことを一つづつ思い出し、記録していくことで自分の姿が浮き彫りにされます。自分史は「過去への旅」、自分の価値の再発見でもあり、次代に贈る精神的財産でもあります。

この講座から新しい自分史が生み出される、そんな予感に満ちた会場の熱気でありました。なお、市教委では、これを機会に「文集・自分史(抄)わたしの私」を発刊します。講座に不参加の方も9月末まで、原稿をお寄せください。

日々楽しむ私の生涯学習



清 名取 清さん

本番三〇分前、装置・道具の最終チェックを終え、緞帳を降ろして、客入れを始める。もう、後戻りはできない。1ベルが鳴り、役者が定位置に付き始める。スタッフは闇に消えていく。最高の緊張感が張り詰める。2ベルが鳴り、一瞬の静寂の後、緞帳が飛び始める。照明が入り、音響が鳴り出す。役者が動き出す。やっと、ほっとする。暗くなった客席に入り込み、前から見てみる。お客の顔を見回す。

道具屋さん

一九七八年
に劇団「川」
に開わり、三



す。食い入る様に見ている。大丈夫そうだと一安心して、舞台転換の段取りに戻る。
：そろそろラスト、スタッフは静かに片付けの段取りを始める。ラスト、大きな拍手が起こり緞帳が降り始める。

この時に何もかも忘れてしまいます。今年、装置図を立体で作らたくて、パソコンを買いました。

(劇団「川」団員)

感動を求めて

当別町の青山地区から厚田に通ずる道道月形厚田線の途中に「神木」として崇められているオンコの大木がある。大正三年にこの地区一帯を焼きつくしたと言われる大火にも生き残り、今もなお生命力豊かに繁茂している。樹齢は、千年以上を重ねて



やる気の顔が勢ぞろい (蒼樹大学入学式)

いると言われており、高さ一七メートル、直径一・六メートル、別名「見晴らしの松」と呼ばれている。

森閑とした山合の中に、風雪に堪えて成長し続けてきたこの老木に出会ったときの感動は、鮮烈であった。



博 三瀬 博さん

私達は、ある偉大なものに出会ったときに一瞬「ことばを失ってしまったことがある。それは、あるときは歳老いてなお威厳をもち続けている「生きもの」であったり、または雄大な風景であつたりするが、その出会いに息をのむような感動を持つことがしばしばあ

は、グリーンボール、社交ダンスを選んで本当に良かったと思います。良き指導者に恵まれ、一〇代の頃の「やれば出来る」という、希望にも似た気持ちの高揚を覚えさせていただきました。

視点を置き、学べる受け入れ態勢があつて、六〇代にして一〇代の頃のように自分の時間を持つことが出来た時、それに専念出来るのが楽しい。こんな嬉しいことが自分の中に残っていたことを発見しました。

一〇代ふたたび

社会活動としては、日赤奉仕団に籍を置き、年令に添ったお手伝いをさせてもらっています。また、趣味にトロット等々、踊る自分の姿

は見ないことにして、この喜びを親しい友人と分かち合いたいとお誘いもしました。レッスン中は、雑念は消え、自分の限界に妥協しながら、偏見は持たず、自由な気持ちに満足し、この江別に住んで良かったと、この偶然に感謝して暮らしております。(日赤奉仕団大麻分団員)



房 山口 房恵さん

江別市大麻に住んで、とてもまとまりのある教育委員会の方針のおかげで、社会活動にも趣味にも自分の意志に応じ、環境にみあったところに

江別市スポーツ少年団本部

佐古利男（本部長）

平成八年度の江別市スポーツ少年団の登録数は、団体三

七団、団員数約一三〇〇人、指導者数約一三〇人となっております。うち、資格を持った「認定員」が九〇人、「育成員」が四人います。また、体力テスト判定員も九人おり、単位スポーツ少年団の指導のほかに、体力テストやリーダー研修会等で活躍しています。

小さなスポーツマンと三十年

少年団の活動。連絡の三役で「各スポーツ少年団の活動

市内スポーツ少年団の元祖は、江別剣道スポーツ少年団で、昭和四〇年に創設、昭和四九年六月までに、卓球や水泳など一〇団が創設されました。

状況を見てまわりながら、指導者と接触し、会合を重ねて説得したものでした。その甲斐があり、昭和五六年には、『江別市スポーツ少年団本部』と『江別市スポーツ少年団指導者連絡協議会』を発足させ今日に至っています。



ソレツ、チームワークが勝負だ長縄跳び!

ご存じですか？ 推進協議会の役割

江別市生涯学習推進協議会（会長伊藤貢・79 団体加入）は、どんな団体で、なにをするのか、また行政（教育委員会など）とどんな関係なのか、の質問が寄せられました。この機会に本協議会の存在意義などにつきまして考えてみましょう。

江別市生涯学習推進協議会（以下「本協議会」という）は、昨年3月に設立された市民主体の生涯学習を推進する組織です。

ご承知のとおり、これまで生涯学習は行政が中心となって推進してきました。しかし、学習するのは市民です。そこで市民が中心となって生涯学習を推進することができれば、これほど望ましいことはありません。なぜなら、行政では考えつかないこと、②な

な取り組めないこと、③予算的に制約のあること、など市民組織であればこそやれる学習事業が数多くあるからであります。



市民ニーズへの対応が必要

本協議会には、文化、福祉、青少年、婦人、自治会、スポーツ、国際交流などいろいろな団体が加入しております。それらの団体の英知を結集し、いま市民が求めている学習事業はなにか、そうした検討の中から前述の①や②、さらには③についても克服し、

市民組織ならではの学習事業を提供することができました。そのことが市内の生涯学習を飛躍的に推進することにはかなりません。

無難、行政を無視するものはありません。行政にも一層がんばってもらい、行政と市民組織が両輪となって取り組むことが期待されております。そのために、本協議会の充実が、いま各方面から望まれております。

おねがい

『ら・ら・ら』編集部まで原稿を送ってください。『私の生涯学習』『私の宝物』や『団体のプロフィール』など紙面を留意してお待ちしています。また、あなたのクラブ・サークル・団体などの行事・イベントなどのお知らせやメンバー募集などのPRにもご協力します。

その他、紙面に関するご意見、ご感想などなんでも遠慮なくお寄せください。

会員の募集

日本の美を求めて

〈江別市菊友会〉
貴方も菊を作ってみませんか。江別市菊友会では、ただいま会員募集をしています。市の花でもある「菊」。毎年文化祭でご覧になっている菊を貴方も作れるのです。年会費 2,000円。詳細は事務局長の松坂さん ☎383-8476まで連絡ください。

〈西崎流小夜重会〉
日舞を楽しみましょう。個人稽古は週1回火または水、大麻高町西崎さん宅、月謝6,500円。団体稽古は毎週金曜、大麻公民館、月謝2,500円。また、無料体験も開催予定です。くわしくは、西崎さん ☎386-1336まで。

音楽と講演のつどい

紅

ライフトーク'96

〈講演〉「世界の街と江別の街」
北大工学部 小林三樹氏
〈音楽〉江別弦楽アンサンブル

・8月22日(木) AM10:00/江別市民会館大ホール/無料
・お問い合わせは教育委員会生涯学習担当(381-1062)へ

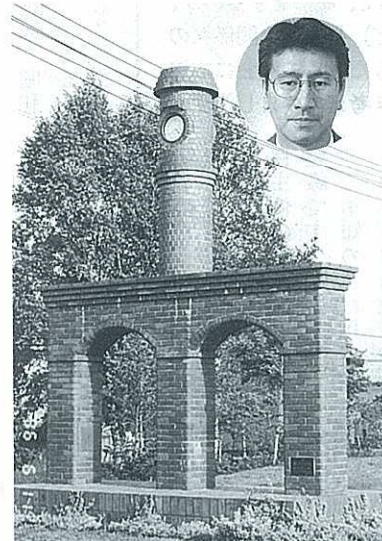
会員の募集

江別市生涯学習推進協議会では、加入団体を募集しております。現在、市内の79団体から加入いただいておりますが、より一層の発展のため、皆様のお力添えが欠かせません。団体の規模、活動内容は問いません。詳細については下記事務局まで。
〈事務局〉
教育委員会生涯学習担当
☎381-11062

私の宝物 夢の懸け橋

角谷 史彦

今では、大半の江別市民は「四季のみち」をご存じと思いますが、冬のゾーンに立っているミニメントを知っていますか。レンガ製の時計塔です。



私が東京から江別の実家に帰って来たのは、昭和五九年の夏でした。一〇年振りの私の周りには学友・悪友がほとんど就職の為、江別に残っておらず、社員と家族の会話だけでした。

そんなある日、「ゴルフが出来る団体」と紹介され、そんなある日、「ゴルフ

この二〇周年という節目を迎え、市民のためにお役に立っている活動のひとつとして、この「四季のみち」のなかに、江別の特産物である野幌レンガを用い、アーチ状（築こう懸け橋地域と共に）のミニメントを寄贈しました。

私にとってまさに二一世紀への懸け橋であり、帰郷した当時を思い出させます。〈現・(社)江別青年会議所 副理事長〉



れんがの街・江別に平成六年四月オープンしたガラス工芸館は、野幌グリーンモール沿いに位置し、歴史的な建造物として保存・活用することを目的に、洋館「旧石田邸」の外観は残し、内部を大幅に改修してつくられました。

教育委員会でも、ガラス工芸教室を開催し、米原さんの指導のもとに、一輪挿し・小鉢などガラス作品の制作を楽しみながら学習できる事業を行っています。

〈所在地〉
野幌代々木町五三
※月曜・祝日休館
入館料・無料
〈問合せ〉
市教委 ☎381-1060

発表者募集!! えべつ 老年の主張大会

近年、地域社会における高齢者の役割はますます重要になってきました。そこで、高齢者の皆様のご意見・ご提言などを以下の要領で募集します。

- 〈募集する原稿〉
- ①テーマ…「地域社会と私たち～私の望み・私のいきがい～」
 - ②400字詰原稿用紙4枚程度 (発表時間8分以内)
 - ③原稿の末尾に、住所・氏名・生年月日・職業・加入団体・電話番号を明記してください
- 〈原稿の締切〉 8月末日
〈応募資格〉 市内在住の満65歳以上の人 (8月末日現在)

〈入賞及び表彰〉
実行委員会が審査し、入賞者(7名前後)を決定。「第1回えべつ老年の主張大会」(10月17日(木)・市民会館)で発表していただきます。入賞者には表彰状及び副賞を、応募者全員に参加証をお贈りします

〈提出及びお問い合わせ先〉
教育委員会生涯学習担当
(高砂町24・☎381-1062)

伝統文化と現代芸術の融合

アイヌ詞曲舞踊団「モシリ」公演決定



アイヌの伝統文化を基調に、現代のニーズに対応する新しいアイヌ音楽・舞台の創造を試み、活動を続けている「モシリ」の江別公演が決定しました。

モシリは、今年の1月から3月まで、「縄文の神々&弥生の神々の魂にふれる日本列島SPIRITツアー」と銘打ち、全国キャラバンを行い、各地でパフォーマンスを通じて、地元の人々との交流を図ってきました。

彼らの音楽、舞踊からはアイヌ文化の粋をこえ、人類普遍の「魂の祈り」が聴こえ、神々を感じさせられます。また、最先端のシンセサイザーや照明機材を駆使した舞台演出は、その芸術性も各方面から高い評価を得ています。

なお、この公演は「アイヌ文化の理解」をテーマとした

編集後記

本号より、「生涯学習だより」から「ら・ら・ら」に名前が変わりました。

生涯学習のことを英語では「Life Long Learning」といいます。頭文字のL3つから「L・L・L」ら・ら・らです。らん、らん、らん、と楽しく学び合いましょう。

